

保護者のみなさまへ

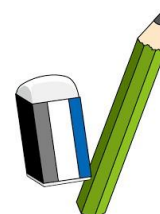
～ 自主学習のすすめ ～

子どもたちを取り巻く教育環境が激変する中においても、「学び」を止めることなく、未来を生き抜く「確かな学力」を育成するためにはどうすればよいのでしょうか。一番の理想は、子どもたちが**学ぶことに興味や関心を持って自ら学び続けること**です。

自分の興味あることや学びたいことに取り組むことで、子どもたちの学習意欲はより高まり、学習内容の確実な定着にもつながります。

そこで注目していただきたいのが、主体的な学習習慣が身に付く**「自主学習」**の取組です。「自主学習」とは、子どもが自分で学習する内容や学習時間を決めて取り組む家庭学習のことです。「自主学習」に取り組むことにより、主体的な学習習慣が身に付き、さまざまなメリットが得られます。

小学校低学年から基礎的な学習習慣の定着をめざし、発達段階に応じて、主体的・計画的な学習習慣を身に付けてほしいと思います。

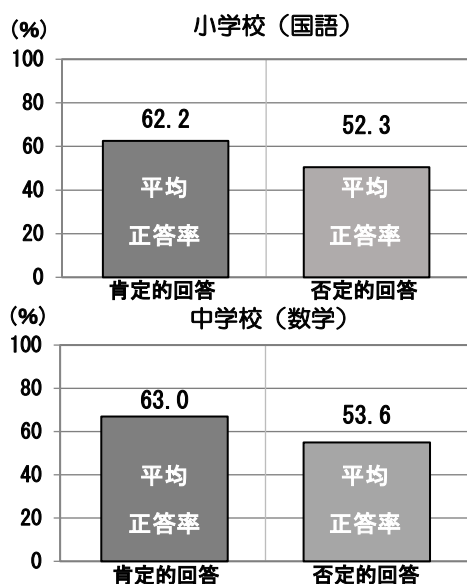


「家庭学習」は「学力」と関係しています

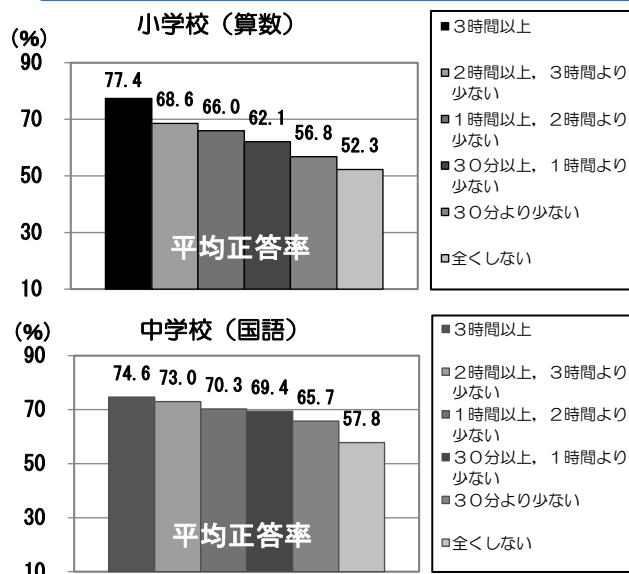
～平成31年度全国学力・学習状況調査の結果から～

「自分で計画を立てて勉強している」と回答した子どもや、一日当たりの勉強時間が多い子どもは平均正答率が高い傾向にあります。家庭学習の内容や時間について自分で計画を立てて学習することや、学習時間は、子どもたちの学力と大きく関係しているといえます。子どもが学びたいことに進んで取り組むようになれば、さらに効果が期待できます。

自分で計画を立てて勉強している



一日当たりの勉強時間（学校の授業以外）



※肯定的回答とは「している」「どちらかといえばしている」を合わせた回答
否定的回答とは「あまりしていない」「全くしていない」を合わせた回答
※グラフの数値は、各項目における大阪市の児童生徒の平均正答率

自主学習 5つのメリット



- ① 自分で学習内容を決めるから、「楽しい！」
- ② 自分で丸つけをするから、「まちがいがすぐわかる！」
- ③ 自分で学習時間を決めるから、「自分のペースでできる！」
- ④ わからないこと、知らないことを調べるのが「おもしろい！」
- ⑤ 毎日続けることで、やりとげたという「自信が持てる！」

保護者のみなさまに、お願いしたいこと



私が忙しくて子どもの自主学習をチェックする時間がありません。
子どもも習い事や宿題で忙しく、自主学習をする時間がありません。

うちの子は「勉強しなさい」と言ってもやらなくて・・・。

わからないところはどうすれば・・・。



保護者のみなさまにしていきたいのは、……

本人がやる気になるまで、見守ってください。時間があるときは、ノートなどを見て「よくがんばっているね」とほめてください。決して無理にさせず、「あなたならできるよ。」「もう少し、こうしてみたら？」など、声かけをしてください。また、自主学習に集中できる環境づくり（テレビを消すなど）にご協力ください。

自主学習ですので、原則わからないことは自分で調べます。
どうしてもわからないことは、先生に質問するようにしてください。

